

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（多核種除去設備スラリー安定化処理設備の設置）に係る面談
2. 日時：令和5年3月29日（火）17時00分～18時10分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
正岡企画調査官、佐藤室長補佐、新井安全審査官、塩唐松係長
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 担当1名
福島第一原子力発電所 担当4名（うちテレビ会議システムによる出席1名）

5. 要旨

○原子力規制庁より、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）に対し、3月20日に開催した第106回特定原子力施設監視・評価検討会において指摘した事項も含め、多核種除去設備スラリー安定化処理設備の耐震クラスや閉じ込め機能に関する主な確認事項について、別添資料に基づき説明した。

○東京電力より、別添資料中の記載内容の意図等について確認があり、原子力規制庁は適宜回答した。

○原子力規制庁より、今後の機器設計等を踏まえて東京電力としての対応方針や考え方等を整理し、今後の審査において適時説明するよう伝えた。

○東京電力より、了解した旨の回答があった。

6. その他

資料：

- ALPS スラリー安定化処理設備の設計方針に係る確認事項

参考：

- 第106回特定原子力施設監視・評価検討会

https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/tokutei_kanshi/140000147.html

（資料5-1：ALPS スラリー安定化処理設備設置における検討状況[東京電力]）

<https://www.nra.go.jp/data/000423967.pdf>

以上